

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成24年9月6日(2012.9.6)

【公開番号】特開2011-24684(P2011-24684A)
 【公開日】平成23年2月10日(2011.2.10)
 【年通号数】公開・登録公報2011-006
 【出願番号】特願2009-171443(P2009-171443)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【 F I 】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 4 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成24年7月19日(2012.7.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

外部機器からの配線が差し込まれる差込み部を複数備えた本体部と、
 前記差込み部に対応させて設けられ、所定の電気信号を前記外部機器からの配線に伝導する端子部と、

前記本体部に対して変位可能に取付けられ、前記差込み部に差し込まれた配線を前記端子部に接触させた状態で保持可能な保持状態と、前記差込み部に対する配線の抜き差しを許容する非保持状態とに状態変化可能な保持手段と、

前記保持状態にある前記保持手段を前記非保持状態へと状態変化させることのできる操作手段とを具備し、

前記端子部、前記保持手段、及び前記操作手段が、前記各差込み部に対応して複数設けられた外部出力手段を備え、

前記操作手段は、前記保持状態にある前記保持手段を前記非保持状態へと状態変化させる際に操作される操作部を備え、

前記操作手段は、特定方向において並ぶようにして設けられるとともに、前記特定方向において第1操作手段と第2操作手段とが交互に配置され、

前記第1操作手段の操作部と前記第2操作手段の操作部とは、前記特定方向に対して交差する方向において位置がずれていることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記第1操作手段の操作部と前記第2操作手段の操作部とは、前記第1操作手段及び前記第2操作手段の操作方向において位置がずれていることを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記第1操作手段の操作部と前記第2操作手段の操作部とは、前記差込み部への配線の差込み方向に対して交差する方向において位置がずれていることを特徴とする請求項1又は2に記載の遊技機。

【請求項4】

前記第2操作手段は、対応する前記保持手段を前記非保持状態とするべく当該第2操作

手段の操作部を操作することで、当該操作部が前記第 1 操作手段に近づく方向に変位する構成であって、

前記第 2 操作手段の操作部を操作した場合に、前記第 2 操作手段の操作部が、前記第 2 操作手段の変位方向において、非操作状態にある前記第 1 操作手段を乗り越す前の段階で、前記第 2 操作手段に対応する前記保持手段が前記非保持状態とされ、対応する前記差込み部に前記外部機器からの配線を差し込み可能となることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の遊技機。

【請求項 5】

前記外部出力手段は、前記第 2 操作手段の操作部が操作されて前記第 2 操作手段に対応する前記保持手段が前記非保持状態とされた後、前記第 2 操作手段の操作部が、前記第 2 操作手段の変位方向において、非操作状態にある前記第 1 操作手段を乗り越す前の段階で、前記第 2 操作手段のそれ以上の変位を制限する制限手段を備えていることを特徴とする請求項 4 に記載の遊技機。